

皆さん、おはようございます。そして、お久しぶりです。こうして皆さんとお話しするのは、1月8日の3学期始業式以来でしょうか。この間、いろいろなことがありました。皆さんは、学年末考査がありましたね。進級おめでとうございます。3月8日に、進級判定会議を行い、皆さんの進級が決定しました。中には、担任の先生から、「進級は、したけど、いくつかの単位を落とすよ。追認試験があるから、必ずそのチャンスを活かして、全部取るように。」と言われた人もいます。私からもいいです。担任の先生のおっしゃるとおりです。必ず全部の単位を取ってください。特に新2年生、1年生で落とした単位がそのままだと、2年生で落とした単位数に加算されてしまいます。2年生での学習は、もちろん1年生より難しくなりますので、2年生から3年生への進級のハードルがなおさら高くなります。もちろん新3年生も同じですよ。ただね、進級や卒業ばかりを気にしているようでは、その先の進路実現などは、とても、おぼつきません。さらなる高みをめざすためにも、進級・卒業など、余裕でクリアするくらいに、日々の学習を大切にして、力をつけてください。

さて、この場に3年生は、もういません。2月28日に、無事卒業式を終え、352名がとてもいい顔をして、元気に四條畷高校を巣立っていきました。1年後の2年生の姿ですね。また昨日の10時には、平成31年度選抜の合格発表を行い、その瞬間、360名の合格者が歓喜の声を上げていました。1年前の1年生の姿ですね。ここで皆さんにお礼とお詫びをしておかなければなりません。学力検査の準備や採点、合否判定作業の間、校内への立ち入りを禁止し、部活動を制限しました。練習したくて、うずうずしていた人もあったことでしょう。ご迷惑をおかけしましたが、おかげさまで昨日、合格者を、無事発表することができました。ありがとうございました。

このように、日本の春は、別れと出会いの季節です。皆さんも4月に入ると、これまでのクラスと別れ、新しいクラスメイトとの出会いがあることでしょう。さて今日も四字熟語の問題です。2学期終業式の四字熟語は、「一陽来復」でした。あれからすっかり日も長くなり、早くも明日は、春分の日です。今日の四字熟語は、元々は、茶道の心構えを表した言葉で「茶会に臨む際には、その機会は、二度と繰り返されることのない、一生に一度の出会いであるということ」を心得て、亭主・客ともに互いに誠意を尽しなさい。」転じて「人との出会いは、一度限りのものだから、大切にしなさい。」という意味を表す四字熟語は、何でしょうか。正解は、「一期一会」ですね。

人と人との出会いは、別れの始まりであり、人生におけるそれぞれの瞬間は、1回限りのものです。まさに我々の人生は「一期一会」の繰り返しです。人生は、決してゲームではなく、リセットボタンなどは、付いていません。しかし、やり直すことができないから、元の時間に戻れないから、異世界に転生することなどできないから、人生は、面白いのです。人と人との出会いに感謝し、その瞬間を大切にして、誠意を持って接し、そして自分の進むべき道をしっかりと選び、一期一会の人生をたくましく生き抜いてください。

とりわけ2年生、皆さんが最上級生として、これからの四條畷高校を背負っていきます。この春休み、来春の入試に向け、学習の基礎を固め、志望校への決意を新たにしてください。また部によっては、部活動に打ち込める最後の長期休業となります。合宿にでかける部もあるでしょう。「一期一会」のこの春休み、悔いのない練習を重ねてください。今日も、テニスの王子様、青春学園中等部硬式テニス部主将 手塚国光君のセリフを紹介しましょう。「さあ、油断せずに行こう」「2年生、畷高の柱になれ!」。くれぐれも後輩から「まだまだだね」などと、言われないように。

4月から新1年生74期生が入学してきます。1年生も、「先輩!」と呼ばれることでしょう。どうか新入生を迎えて、良き先輩として、新入生を導き、これからの四條畷高校をなお一層素晴らしい学校にしてください。四條畷高校は、来年度創立116年となります。「守る伝統から創る伝統へ」。皆さんと一緒に、新たな伝統を創っていきましょう。今の私は、6月の畷高祭のオープニングで、どんなアニソンを歌おうかとあれこれ考えて、ワクワクしています。リクエストがあれば教えてください。それでは、次は、4月8日の始業式で、またお会いしましょう。どうか、お元気で。